



*F u - Z i n*



再発見！博多の町。この町が大人も子供も育ててくれるのだろう。

# 第4号

平成15年10月発行

## 「第10回 NPO博多の風 フォーラム」報告

- 「第11回NPO博多の風フォーラム」開催決定！
- 「第2 探訪!!博多祇園山笠 追山コース」報告
- 「第3回クリーン作戦」報告

# 『第10回NPO博多の風フォーラム』開催

平成15年4月20日(日)

去る平成15年4月20日(日)に博多部の明治生命ホールにて「第10回 NPO博多の風フォーラム」が開催されました。第一部は福田事務局長から、NPO博多の風活動報告が行われ、「フォーラム事業」「楽文コンテスト事業」「クリーン作戦」「探訪・追山笠コース事業」「広報事業」といった主要事業の解説と世話人の方を壇上よりご紹介させていただきました。

その後、福岡平成ロータリークラブが昨年9月の10周年記念事業の一環として、山笠が地域で社会教育・人間教育にどう生かされているかというテーマでKBC九州朝日放

送と共同で製作した「おっしよい、地域の教育力」のビデオ放映を実施しました。

第二部は、RKB毎日放送取締役報道局長兼開設委員長の永守良孝氏から「人と人のおとなどこどものふれあい」というテーマで講演をいただきました。後半は大庭理事長、KBCアナウンサーの沢田幸二さんも壇上上がり3人でのトークバトルが繰り広げられました。

## 永守良孝氏講演 (抜粋)

ご紹介いただいたように85年から90年まで、5年間韓国で仕事をしました。

韓国に行くとビックリしたのは、中学生・高校生の礼儀正しき。目上の人に対する態度が実にきちんとしていました。よく人の家にも招かれましたが、その家の子供さんが必ず出てきてきちんと挨拶をします。そういう時に実は日本も昔はそうだったのだなと思います。

韓国のお子さんを見るとお母さんとの結びつきが非常に強いですね。私がちょうど行

ていく、子供が親に抱えられつつ家庭の中で厳しくやっつけていく。そういうのを見たように思います。

さっきのビデオを見ながら、自分の父親がやってきたことを「ハードルが高い」と大庭大輔君は言っていました。そのハードルを越える喜び、苦しみの中にある喜びという物を得る機会が今の日本には少ないという気がします。

私が育ったのは石川県の金沢で、育った頃は何も無い町でした。その時代は親がどこか遊びに連れて行ってくれたとか、何かしてくれたことはなく、子供は子供で遊んでおりました。地域というのはそこに色々なお仕事をしている人がいて、色々な集団があって異質の物が交じったもの、そういったところが地域を形成していくんだと思います。私のところは公務員住宅で10戸だけまとまっていて、勤めも同じ。子供もあまりいない。必然的に学校の友達とだけ付きあうことになる。学校も少し遠いところに通ってましたんで地域にあまり友達ができない。中学校までそういう風な生活をしていました。

やはり地域ってというのが子供を育てていくと思うのですが、私なんかは考えるところが多かったと感じます。学校に占める割合が多かったなと思います。

会社に入ってから2年目のときに田川のほうにおりまして、そこにお母さんたちが字を勉強している識字学級ってところがあります。そこに行くと取材したときに初めて字を知らない人がいるっていうのを知りました。その人達は幼い頃から炭鉱に暮らしていて学校に行けないまま40歳、50歳になり、充分に字を書けず、読めず今改めて一生懸命勉強しているわけです。そのお母さんたちが日雇い終わってから午後8時くらいから勉強している。それを見ていると感動したんですけれども、なぜ勉強するかって聞くと自分の子供の問題だったんです。自分の子供たちが学校に行かない、成績が悪いとか色々な悩みがあるんです。しかし学校の先生は来てくれない。選挙のときか、子供が悪さしたときくらいしか来ないといったお母さんたちの悩みがあった。ところが一部の先生達が字を勉





強しようじゃないかというこ  
とでお母さんたちに字を教え  
始めた。その時に子供が良  
なつていった。  
そういう勉強の場でお母さ  
んたちが、一生懸命勉強して  
いる姿を見て子供たちが変わ  
ったとかそういう話をされる。  
やはり地域の持つ力ですね。  
学校だけでもダメ、お父さん  
お母さんだけでもダメ。やは  
りみんながそこで手をつない  
でやって行かないと子供も変  
わらないんだなと思いました。  
今、学校は非常にづらい立場  
にあると思いますが、学校だ  
けで教育がよくなるわけな  
いですよね。学校と父母とそ  
この地域を支えている人達と手  
を取り合った取り組みがない

と子供たちは変わらないと思  
いました。

その後、大庭理事長とKB  
Cアナウンサー沢田さんが壇  
上に上がり、3人で話が進む。  
〔中略〕

**沢田さん(以下S)**…さつき  
のVTRでもありましたが大  
人もハードルを高くするよう  
努力しないといけないですね。  
**大庭理事長(以下O)**…そう  
やね。できるのなら一緒に時  
間を過ごさんといかんのやけ  
ど、短い時間で何を投げるか、  
これが父親の仕事ですよ。  
**S**…そうなんですやね。あ  
まり娘や息子と会う時間がな  
い。その貴重な時間でどう勝  
負するか。

**O**…永守さんところのお  
子さんがまっとうに育つ  
たのは、奥さんがお父さ  
んの悪口を言わなかった  
からだと思えますよ。だ  
いたいいつも言いますけ  
ど、自分の家ではほとん  
どお母さんといえるじゃな  
いですか。ある程度大き  
くなって言うことを聞か  
なくなったら「お父さん  
何か言ってる」って聞くわ  
けなからうもんなって。  
**永守さん(以下N)**…妻  
と2人のときはいろいろ  
言われていますもんね。  
**O**…沢田君もどうしたら  
良いかと永守さんにお聞  
きしてね。うちは駄目よ。

**S**…いやいや、大庭さんとこ  
ろも素晴らしい娘さんと息子  
さんでね。ああいうVTR見  
ていると自分がハードルにな  
りたいなと思えますよ。今か  
らじゃ遅いですけど。すぐ倒  
れますけど…。

**O**…いやいやなれますよ。  
**S**…なんかもう1回立ちたい  
なと思えますね。子供の為に  
**O**…でも子供が大きくなる前  
にいくつか段階ふんで壁にぶ  
つかりますよ。その時に、  
お父さんお母さんで違うあれ  
があるんでしようが、父親の  
場合は強くてというのがあり  
ますかね。そういうのは永守  
さん必要ですかね？

**N**…それはもうタチですから  
ね。パンってやれる人と、私  
なんかは手は出ないほうです  
から。何も手を出せばいいと  
いうものでもないですけど。  
怒るっていうのはやっぱりエ  
ネルギーあるでしょ。こっち  
も疲れますから、ついじゃあ  
もういいかという気持ちにな  
ります。けど子供の事思った  
ら本当は言ってるやらないとい  
けないと思えます。  
**S**…僕は自分なりに役割分担  
してて、日々の中で悪いこと  
をして怒るのは母親に任せて、  
ここぞというときに怒るうか  
なって思っています。な  
なかここぞというときが来な  
いんですよ。ていうかお父さ  
んってずるいですよ。疲れ  
るんですよ。居間で新聞読

んで母親が怒っていると私  
じゃないかな。良く言うじ  
やないですか。お父さんもお  
母さんも怒ったら子供がパニ  
ックになると。引いたり押し  
たりしようかなと。

**O**…刑事と同じですね。  
**S**…そうですね。たまにはカ  
ツ井食わすと。カツ井食わす  
のは俺の役割だ。で、イラ  
ク戦争って何すると聞かれる  
と、ガバッと起きてそれはア  
メリカがなと。そういう父親  
になりたい。永守さん、ど  
うですか？

## 第11回NPO博多の風フォーラム 開催決定

■開催日時 平成15年11月9日(日)  
開場 12:30/開演 13:00

■開催場所 明治生命ホール  
(明治生命ビル8F)

□第一部 第3回祭童子集まれ!  
楽文コンテスト優秀作品表彰式

□第二部 講演

●講師: 奥田智子氏  
(九州朝日放送アナウンサー)

●演題: 「奥田智子の博多よもやま断(ばなし)」

ぜひ、知人・友人の方をお誘い合わせの上、  
お気軽に起こし下さい!!

って言われます。  
**S**…そうですね。本当に子供  
は日々いろんな事を見たり聞  
いたりして戦争のことからテ  
レビのことまで見ているんだ  
など。「戦争が起こって北朝鮮  
からミサイルが飛んできたら  
どうなるか?」って聞かれて  
答えられる大人になりたいな  
と思えます。  
**N**…RKBのニュースワイド  
見てくださいわ。  
**S**…私に言います?永守さん。  
**O**…いやー本当にありがとう  
ございました。  
(大久保道之進・金城智也)

# 『探訪!!博多祇園山笠』

## 追山コース』開催

平成15年6月1日(日)

博多祇園山笠の素晴らしさ、さらには博多の町に残るいろいろな歴史の流れを多くの方々にも触れてもらおうと参加者を広く一般公募し、「博多の風」の仲間たちの道案内で「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」を開催しました。

平成15年6月1日(日曜日)

博多の男衆が1年ぶりに法被に袖を通し、今年の山笠を迎えた日に、第2回「探訪!!博多祇園追山コース」が開催されました。今回も新聞紙上やチラシ等で参加者を募集しましたが、前回以上の反響で応募者が殺到、今回は10グループに分かれてのスタートとなりました。今回からは「NP O博多の風」の「のぼり」に加えて「まねき旗」が登場。恵比須流の元プロ野球選手・橋慶彦さんやテレビ・ラジオでお馴染みのタレント・中島浩二さんも参加して、にぎやかなイベントとなりました。なお、NHKやRKBのテレビ局スタッフ・各新聞社の記者も取材に駆けつけて参加者と同行。追山コースをみんなで見ました。

4. 通称「東町筋」です。道幅が狭く、迫力があります。この先には長い下り坂があり、山笠のスピードが上がります。

3. ここが承天寺です。ここでも清道を廻る山笠の迫力を間近で見ることができます。ここに、山笠発祥の地をしのした石碑があります。

1. 稲田入りのスタート地点「山留め」です。大太鼓を合図に山笠は稲田神社の清道を目指して動き出します。動き出す瞬間は頭が真っ白になります。

2. 「稲田神社の銀鈴」の手前から右におれて、一気に清道をめざします。最初の入り方は稲田入りの重要なポイントの一つです。

5. 通称「ごんどう通り」です。ここからはまた道幅がせまくなり、この先の90度の曲がり角を一気に曲がる所がは典取りの腕の見せ所です。



7. 追山の決勝点「廻り止め」です。ここまでの約5キロを男達はいろんな想いを胸に走りぬけます。



6. この「西町筋」を下に降りたら12日の追い山ならしの「廻り止め」になりますが、15日の追い山では、これから先、右に左に約1km、須崎問屋街「廻り止め」まで一気に駆け抜けて行きます。



8. お疲れ様でした。追山コース回り終わって、如何でしたか？ 皆さん説明が足りなかった所が多々あったと思いますが、楽しんで貰えましたか？



9. 冷たいぜんざいを用意しております。みなさん遠慮なく食べてください。

～参加者のみなさんより～

- 福岡市西区在住・女性 「新聞を見て申込みした。距離の長さを実感できて良かった。」
- 春日市在住・男性 「昔、奈良屋町に住んでいたので子供の時は「先走り」をした事もありましたが、東京へ移り住み、山笠には参加していませんでした。今回、約70年ぶりに山笠のコースを歩きました。御供所町のあたりなどを歩きながら、博多の街の郷愁を感じました。」
- 福岡市南区在住・女性 「テレビではわからない、山笠の動きやの順路など、勉強になりました。」
- 福岡市中央区・ご夫婦 「山笠は見にくる事はあっても、コースを歩くのは始めてでした。よくこんなに狭いところをぶつけずに、進んでいくものだと思いました。」
- 福岡市城南区・女性 「昇り手の方ならではの説明は臨場感があって、楽しかったです。次回は友人も誘ってみんなで参加したいです。」
- 福岡市城南区・男性 「廻り止めの所がこんなに、るぐるしているとは思わずにコースを歩いてみて始めてわかりました。今年の山笠はちょっと違った感じでみれそうで、今から楽しみです。頑張ってください。」

# 来風人

## 会員紹介 松井将さん



氏名：松井 将  
 年齢：34歳  
 職業：自営業  
 (不動産・保険)  
 大黒流 須の一

私の父は兵庫、母は熊本の人間ですが、私は博多で生まれて2歳の頃から須崎町に住んでいます。奈良屋幼稚園・奈良屋小学校・博多2中に進みました。もの心ついた頃から周りの子供達と山笠に参加していました。直会の後のお菓子やアイスクリームがもらえるのが一番の楽しみでした。その後地元高校へ進みアメリカ留学を志すも途中帰国して地元企業へ就職しました。サラリーマン時代は山笠に時間を割くことが難しく、最初の2年間ぐらいは苦勞しました。代休とフレックスを駆使して期間中をすごしたりもしましたが、そのうち回日も認めてくれて、「あいつは山笠のほせだから」と言われながらも、お休みを頂いたりできるようにになりました。

平成8年・自分が27歳の時に自分の町内が当番町をさせていただきまして、当番町の大変さを改めて実感し、いろんな事を考えました。大黒流は12ヶ町で構成されていて、1ヶ町1当番でその年の山笠を運営しています。次の当番は12年後になりますから、今の大黒流の運営体制が変わらなければ平成20年・自分が39歳の当番町は一番山笠になります。一番山笠の当番町をやらせていただくのは12×7＝84年に一度の事になりますので、これはほんと「巡り合わせ」としか言いようがありません。私の個人的な夢なんですけど、「できればその時に櫛田入りの台上がりを見せていただけて祝い目度を歌いたい。それができれば死んでもいい！」と思いました。

じゃあその時までにはどうすればいいのか考えました。一番山笠の当番町になれば、寄り事も増えるので、サラリーマンを続けるよりは、自分の町内で自営業をやろうと。それも当番町の時に経済的・時間的なゆとりをとれるように、もっと前から始めた方がよいと思いました。人と人との間でできる仕事で、達成感や信頼感を得られるような仕事をすると思い、不動産関係の仕事をやろうと決めました。その想いを母へ話したら「当番町の時まで私は死ねんね。あなたの人生だからあなたが決めなさい。」と言ってもらえました。当時勤めていた会社の方にも自分の想いを伝えて理解していただき、昨年からはようやく独立して一人で不動産と保険を扱う仕事をさせていただいています。

博多の風との出会いは、NPO組織になる前から参加させていたでいております。昨年の「追山コース探訪」の世話人をやらせていただく中で、博多の風の仲間はもちろん色んな人と、より深い関わりを持てたのが良かったですね。

高校生ぐらいから私もちよつとワルサをしていた時期がありました。そんな時でも私をしかつてくれて起動修正してくれた山笠の先輩がいました。当時は「何で怒られるんや？」って思っていました。私の知らない所で一番目をかけていたのだのも実はその先輩だったりして、今思えばそれはやさしさだったと思います。そういう場が山笠の中にはあるんですよ。しかし、自分の周りを見ても、そういう大人が減ってきているなと思います。自分達が子供の頃に感じていた楽しかった事、経験した事を今の子供達にも経験させてあげたい。地域への恩返しとして自分が感じた想いを次の世代へと繋げていきたいと思っています。

(中山 肇)

## がんばれーぎんなんリトルラグーンズ



ぎんなんリトルラグーンズは、20年以上の歴史を持つ少年ラグビーのクラブ組織で、現在幼稚園の年長組から中学生まで約60名のメンバーから構成されている。練習は、旧冷泉小学校跡地のグラウンドを中心に毎週日曜日に行われている。今回は、9月下旬に南区の某グラウンドで行われた中学生チームの練習試合と試合後の練習を取材することができた。強豪相手との試合ということもあり、残念ながら勝つことはできなかった。

このチームには「3つの頑張り」というモットーがある。「きついつきに頑張りぞ」「みんなのために頑張りぞ」「何でも頑張りぞ」

試合後、コートから機が飛び、技術的なことよりも気持ちで負けているのだと子供たちを厳しく指導する。

試合後の練習が行われ、子供たちの動きが徐々に良くなっていく。そのコートの真剣な姿とそれに応える子供たちのまなざしはシーンとくるモノがあった。

ぎんなんリトルラグーンズは現在メンバーを募集受付中。お問合せはコート角田さんまで(090・9791・3367)



(大久保道之進)

## 第3回クリーン作戦開催

平成15年5月18日(日) 賛助会員のご協力で8時30分より「第3回クリーン作戦」を実施。今回は「NPO博多の風」の「のぼり」が初登場。一般参加の方々の目印にも活躍しました。今回もNTTグループ福岡ラグビー部の方や3歳のお子様を含む多数の一般参加の方々の協力で、額に汗をにじませながら約3時間の清掃活動で集めたゴミは30袋強。山笠の季節を前に、きれいになった博多の街をみて、改めて、気が引き締まりました。



### 「第4回 NPO博多の風 クリーン作戦」のお知らせ

年2回のクリーン作戦もはや4回目。次回は11月16日に開催します。NPO博多の風のメンバーと一緒に博多の街を美しくしましょう。お友達等をお誘い合わせの上、ご協力よろしくお願いします。

■平成15年11月16日(日) 8:30集合(11:30解散予定)

■集合場所: 冷泉公園(南側の角)

### NPO博多の風 賛助会員募集の お知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介します。

●お問合せは  
「NPO博多の風」事務局  
(担当・福田)  
TEL: 090-1349-5982  
FAX: 092-263-7188

「第3回 祭り童子集まれ! 楽文コンテスト」も6月から募集



昨年度の受賞者の皆さん

「第3回祭り童子集まれ!」

楽文「コンテスト」優秀作品

11月9日フォーラムにて発表!

を行い、前回を上回る930通もの応募を頂きました。「博多祇園山笠振興会賞」「毎日新聞社賞」「シテイ情報ふくおか賞」「NPO博多の風賞」といった優秀作品の選定をさせて頂いておられます。

次回第11回NPO博多の風フォーラムで20名の受賞者の発表と優秀作品の紹介をさせていただきます。子供の素直な視点から祭に参加して思うこと、感じた事ありのままに表現した「楽文」です。思わず心にぐっとくるものも多数あります。ご期待ください。

### ～編集後記～

先日、秋の空気に包まれた博多の街を歩いてみました。博多に移り住んで半年経ちましたが、ゆっくりと歩いたのは久しぶりでした。開発の真っ直中にあるビルもあれば、古き良き博多の街の面影を残す通りもあり、ゆっくりと歩くと色んな事に気づきます。ここは非常に表情豊かな街で、今なお変化を続けています。街の変化はそこに住む人の生活をも変えてしまっています。「風人來人」で紹介させていただいた松井さんの言葉にもありました。「自分が感じた想いを次の世代に繋げていきたい」と。今私が博多の街に住む事ができるのもここに住んでいる人達のおかげです。その街をよりいい街にして、次の世代へきちんとした形で引き継ぎをしていきたいと思えます。

「NPO博多の風」

広報事業部・中山 肇

## NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本能氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 眞氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
	「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	「NPO博多の風ホームページ」開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
	「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（RKB毎日放送取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～7/31）

### NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「NPO博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動  
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16-302

TEL&FAX 092-263-7188

E-Mail npkaze@junco.ocn.ne.jp

URL <http://hakatanokaze.jp>

題字：新井光守

